

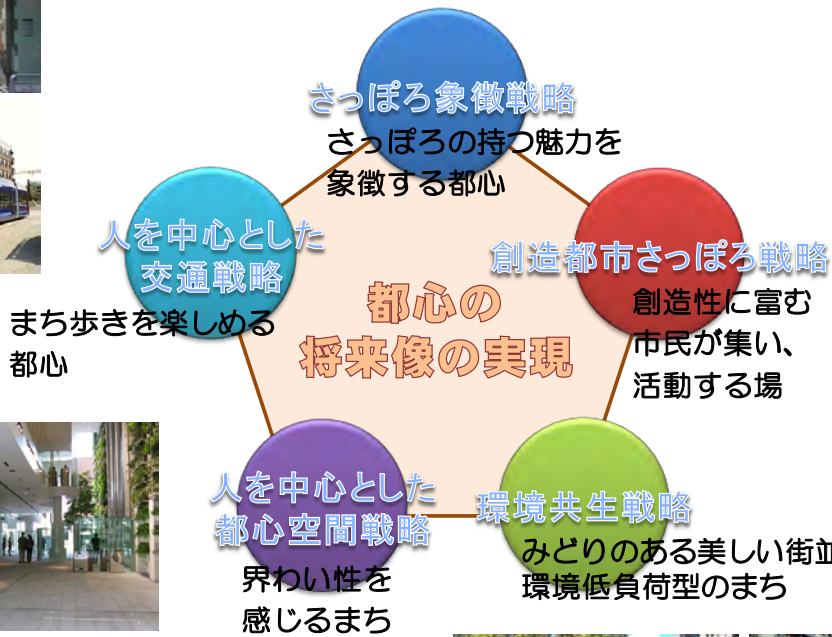
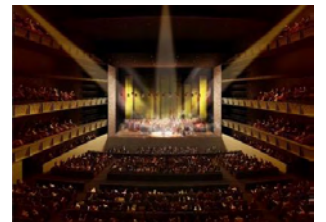
3 都心まちづくりの5つの展開戦略

3-1 都心まちづくりの取組方針～『展開戦略』

都心の将来像を実現するためには、戦略性を持った中長期的な取組を段階的に展開する必要があり、さらに、社会情勢の変化に対応できる柔軟性を備えた取組を進めることが重要となります。

そのためには、都心まちづくりの基本的な考え方をまちづくりに関わる多様な主体が共有し、連携して取り組むことが求められます。

このような観点から、都心まちづくりにおける具体的な取組の方針を「都心まちづくりの展開戦略」として位置づけます。



3-2 都心まちづくりの5つの展開戦略

1 さっぽろ象徴戦略～さっぽろの持つ魅力を象徴する都心～

札幌の新たな魅力と活力を都心において来街者がひと目で見て取り、体感できる象徴性を有する街並みを創造します。

骨格軸の強化と展開軸の形成を図ります

◆にぎわいの軸（駅前通）

- ・地下歩行空間整備、地上部再整備による新たな回遊とにぎわいの創出
- ・「創造都市さっぽろ」を象徴する空間の形成



◆はぐくみの軸（大通）

- ・札幌らしさの象徴とともに、人々の多様な活動を支える空間創出
- ・開発の動向の合わせた東方向への延伸の検討



◆やすらぎの軸（創成川通）

- ・創成川通親水緑地空間整備による「環境首都・札幌」を象徴する環境創出
- ・北方向への機能強化の検討



◆うけつぎの軸（北三条通）

- ・札幌の都市形成を支えた歴史的価値の継承
- ・みどりのある美しい景観の形成



◆いとなみの軸（東四丁目線）

- ・都心の新たな魅力を象徴する創成川以東地区の基軸の形成
- ・北三条通、大通との連携により、都心全体の回遊性を向上

交流拠点の強化・形成を進めます

◆札幌駅交流拠点

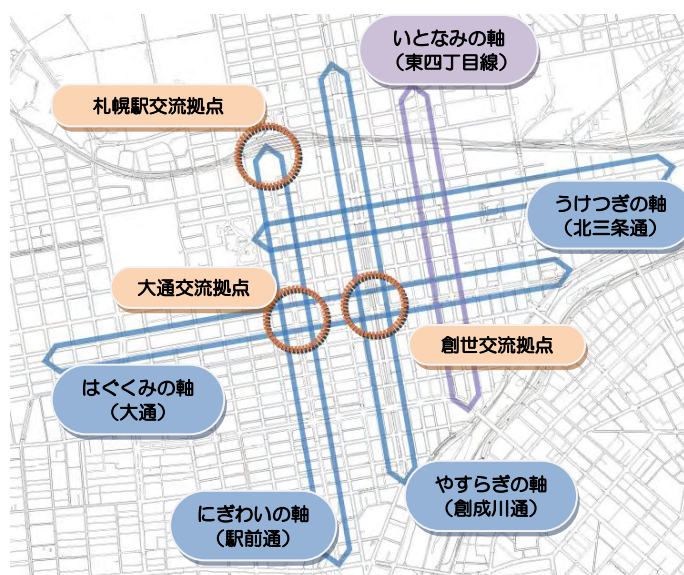
- ・新たな機能の導入、交通結節点機能の強化による道都札幌の玄関口にふさわしい拠点の形成

◆大通交流拠点

- ・地上・地下の一体的整備による、中心性を象徴する「サッポロ広場」の形成

◆創世交流拠点

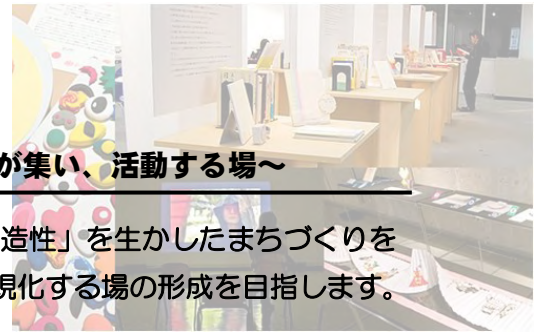
- ・官民協働による、先進性、独自性、多様性のあるにぎわいの創出
- ・市民交流複合施設の整備などによる、札幌の新たな創造性の象徴と発信



■都心の骨格構造

創造都市さっぽろ戦略～創造性に富む人々が集い、活動する場～

「創造都市さっぽろ」を象徴的に発信する場の創出など、「創造性」を生かしたまちづくりを進め、新たなまちづくりの方向性を先導し、象徴的・集約的に具現化する場の形成を目指します。



「創造都市さっぽろ」を象徴的に発信する場・機会を提供します

◆創造活動のプラットフォーム²としての創世交流拠点の形成

- ・文化芸術振興及び創造活動の拠点となる市民交流複合施設の実現



◆公共空間における創造的な場の形成

- ・大通公園や創成川公園でのアートワークなど、公共空間における創造的な場の形成や活動を展開

◆地域特性を生かした地下ネットワークの創造的な活用

- ・駅前通地下歩行空間（北二条地下広場）におけるメディア・アートなどの発信や、地下鉄東西線コンコース（大通駅・バスセンター前駅間）における「500m美術館」の常設化など、地下ネットワークの活用を推進



◆「創造都市さっぽろ」を発信するイベントなどの展開

- ・札幌の創造性・文化性を発信し、世界と連携できるイベント（国際芸術展など）の展開と既存の文化・芸術イベントの連携

「創造都市さっぽろ」を支える人材の育成を進めます

◆身近な創造的空間の創出

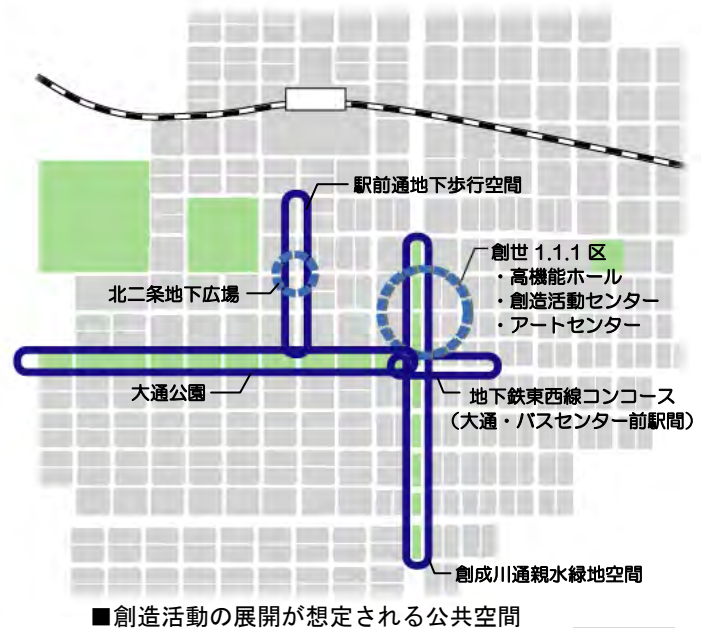
- ・既存施設の活用や民間開発などを通じ、市民やクリエイターが身近に創造活動に触れ、参加できる場や機会を創出

◆アートセンター

- ・多様な分野の実践者、専門家から知識や構想力を学ぶ「場」をつくるなど、文化芸術の担い手の育成を支援

◆創造活動センター

- ・次世代の創造活動の中心を担う人材の育成
- ・創造活動がビジネス活動へと結びつく環境の整備



² プラットホーム：鉄道駅にある、列車に乗り降りするための台状の場所。ここでは、「上部のさまざまなもの(多様な創造活動)を広く大きく支え、結びつけるもの」を指す。

2 環境共生戦略～みどりのある美しい街並みと、環境低負荷型のまち～



エネルギーや資源の効率的利用を積極的に推進し、環境への負荷を抑制するとともに、高次な都市機能が集積しながらも、豊かなみどりを備えた街並みの形成を目指します。

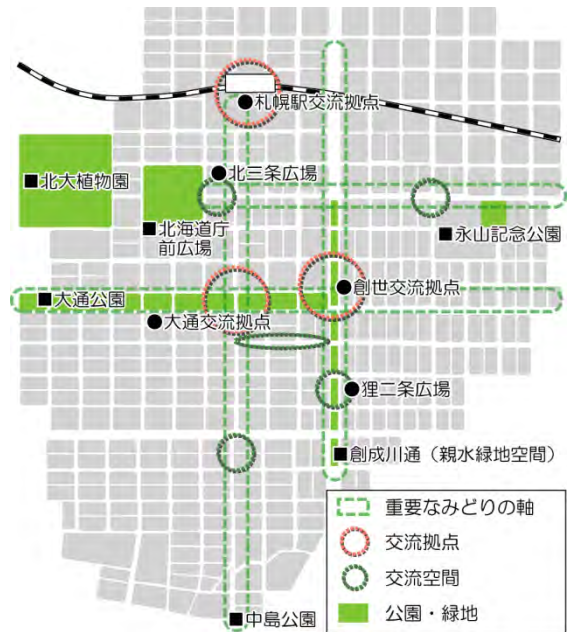
みどりの創出とネットワーク形成を推進します

◆札幌の顔となる景観の創出

- ・「重要なみどりの軸（骨格軸）」や、道庁前庭などの拠点を中心に、樹木を主体とした景観を形成

◆まちづくりに合わせたみどりの創出

- ・民間による緑化やオープンスペースの緑化推進の支援などを通じて、公有地以外においても札幌らしい緑化を推進



■都心のオープンスペースネットワーク

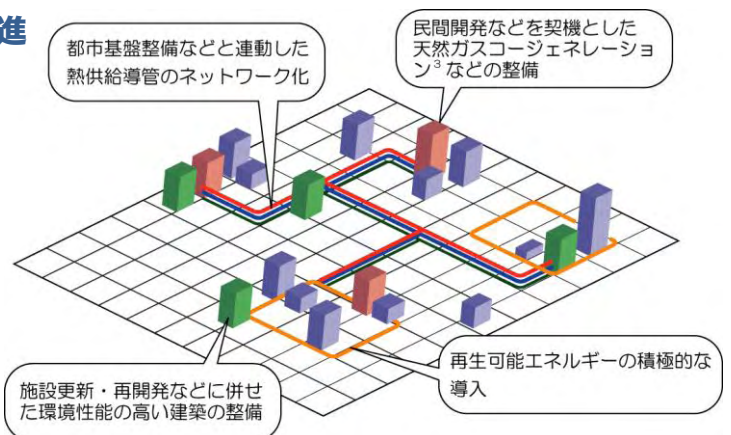
エネルギーや資源の効率的な利用を進めます

◆人と環境を重視した都心交通の推進

- ・公共交通機関の利用促進
- ・人や環境にやさしい路面電車の導入検討
- ・自転車利用環境の向上

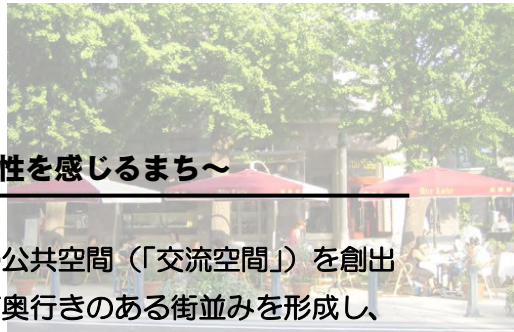
◆環境低負荷型エネルギー利用の推進

- ・エネルギーネットワークや再生可能エネルギーの活用、省エネルギー設備の導入などにより、環境低負荷型のエネルギー利用を促進



³ 天然ガスコージェネレーション: 天然ガスなどを燃料としてエンジン、タービン、燃料電池により発電し、その際に生じる排熱を回収してお湯や蒸気をつくり、給湯や暖房に利用する熱電併給システム。省エネルギー性、経済性に優れる。

人を中心とした都心空間戦略～界わい性を感じるまち～



人々の多様な活動を支える場として、街路や広場、公園などの公共空間（「交流空間」）を創出するとともに、多様な街路空間を創出することで、変化に富んだ奥行きのある街並みを形成し、表通りにはない都心の新たな界わい性を生み出します。

回遊や交流を支える場の創出を図ります

◆骨格的な交流空間

- ・大通公園、創成川公園、北海道庁前広場、永山記念公園、北海道大学植物園

◆拠点的な交流空間

- ・骨格軸などの交わる結節点に回遊を支える拠点的な交流空間を配置
 - 今後創出する交流空間・・・札幌駅交流拠点、大通交流拠点、創世交流拠点、北三条広場、狸二条広場
 - 今後検討すべき交流空間・・・南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差部周辺、駅前通・月寒通交差部周辺など

◆交流空間のネットワーク

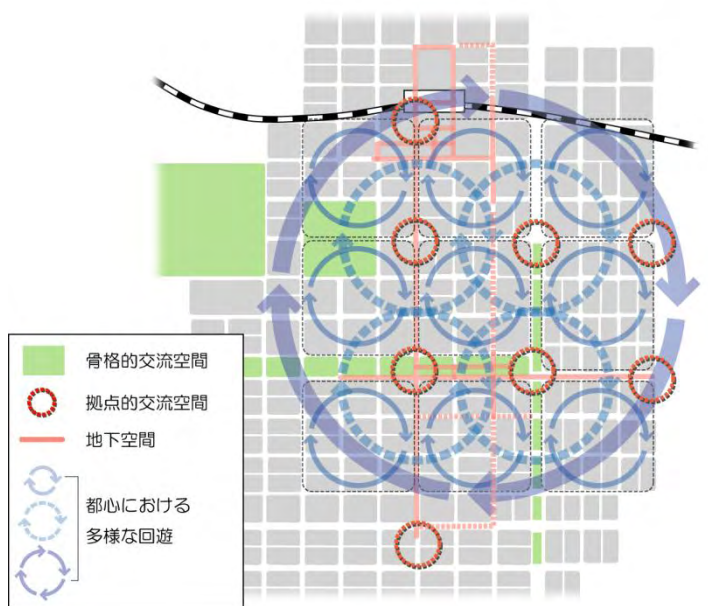
- ・骨格軸などの強化や再開発などに併せた地下空間の整備により、交流空間相互をネットワーク化
 - 地下空間の整備・・・駅前通地下歩行空間
 - 地下空間の整備検討・・・南一条地下空間、西二丁目地下空間

◆「界わい空間」の創出

- ・民間開発などを通じた、変化に富んだ奥行きのある身近な公共空間（「界わい空間」）の創出

◆支援制度の充実

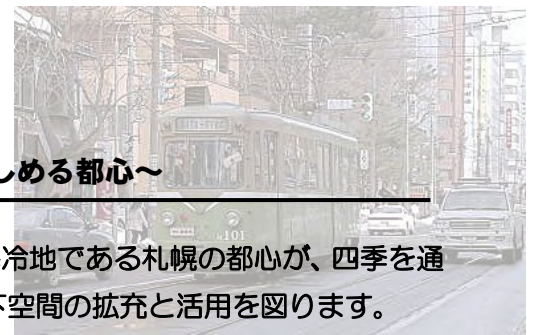
- ・「界わい空間」の創出に対する民間へのインセンティブ（都市計画法・建築基準法などの弾力的運用など）の付与の検討



■都心における多様な回遊

5 人を中心とした交通戦略～まち歩きを楽しめる都心～

回遊や交流を支える交通環境の充実を進めるとともに、積雪寒冷地である札幌の都心が、四季を通じて「歩いて楽しい都心」としての魅力を発揮するために、地下空間の拡充と活用を図ります。



人を中心とした交通環境の充実を図ります

◆歩行・自転車走行環境の強化

- ・街路整備に併せた歩行環境の強化や自転車走行空間の明確化

◆駐輪場の整備

- ・既存空間の活用や、民間開発などに合わせて需要や利用特性に応じた駐輪場を確保



◆公共交通の拡充検討

- ・新たな回遊やにぎわいを生み出す路面電車の導入など、人や環境にやさしい公共交通の拡充を検討

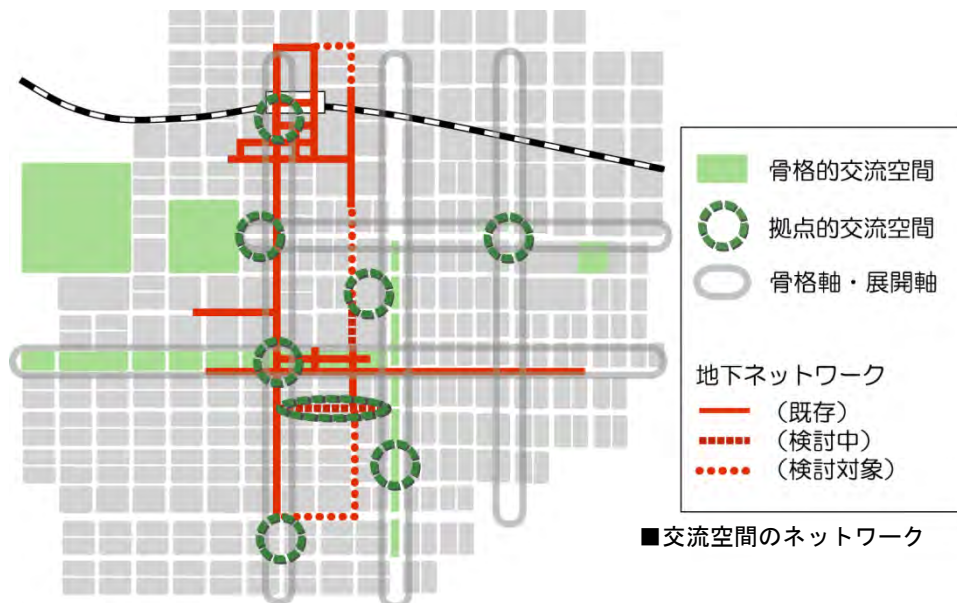
地下空間の拡充と活用の推進を図ります

◆地下空間の拡充

- ・地下歩行空間ネットワークの拡充を図るとともに、隣接する民間ビルの建替えやそれに伴う地下接続を促進
 - 地下空間の整備・・・駅前通地下歩行空間
 - 地下空間の整備検討・・・南一条地下空間、西二丁目地下空間

◆地下空間活用の推進

- ・地下空間活用の基本方針（P16 参照）に基づき、空間の特性に合わせた活用を推進



3-3 都心まちづくりの展開プログラム

都心まちづくりの5つの展開戦略を実現するため、今後10年間程度の実施を「都心まちづくりの展開プログラム」として位置づけ、戦略的なまちづくりを進めます。

展開戦略1 さっぽろ象徴戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●駅前通地下歩行空間整備及び地上部再整備 ●創成川通親水緑地空間の整備 ●骨格軸（北三条通）と展開軸（東四丁目線）の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●景観計画重点区域の検討（道庁周辺地区、北三条通など） ●札幌駅交流拠点と大通交流拠点の再整備 ●創世交流拠点（創世1.1.1区）の整備
展開戦略2 創造都市さっぽろ戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●市民交流複合施設の整備（高機能ホール・アートセンター・創造活動センター） ●駅前通地下歩行空間（北二条地下広場）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●500m美術館の常設化 ●アートイベント（国際芸術展など）の展開
展開戦略3 環境共生戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●樹木を主体とした街並みの形成 ●貴重な樹木の保全 ●緑化推進支援制度の活用 ●公共交通機関の利用促進 ●路面電車の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●自転車利用環境の向上 ●環境低負荷型のエネルギー利用の推進 ●環境低負荷型の建築物の普及推進 ●北4東6周辺地区のまちづくりの検討
展開戦略4 人を中心とした都心空間戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●交流空間の整備（北三条広場、狸二条広場） ●創世交流拠点（創世1.1.1区）の整備 ●民間開発などへの支援制度の検討 ●地下空間の整備検討（南一条地下空間、西二丁目地下空間） 	<ul style="list-style-type: none"> ●交流空間の検討（南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差点周辺、駅前通・月寒通交差点周辺など）
展開戦略5 人を中心とした交通戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●北一条・雁来通の整備 ●東四丁目線の強化 ●自転車走行空間の明確化 ●駐輪場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●路面電車の導入検討 ●地下空間の整備検討（南一条地下空間、西二丁目地下空間） ●地下空間の活用検討

